

すぐに怒りだす

友達を叩いてしまう

衝動的に押してしまう

乱暴な行動をしてしまう



【衝動性を抑制できない理由】



本人に悪気はない!

意にそぐわない状況に直面したとき、一瞬の怒り
驚き・恐怖が叩く行為になっているのです。

気持ちを表せない



言葉で気持ちを表現できずに叩いてしまう

遺伝的な要因



遺伝子の特性によって「切り替え・刺激に
対して我慢する」脳の部位が働きづらい

脳の発達過程



12歳ごろまでは我慢する脳の働きが感情の
発達に追いつかず、衝動的になりやすい

環境的な要因



ストレスの多い環境や適切な社会的スキルを
学ぶ機会の不足が要因になっている

衝動的が強い子は、社会性にマイナスの
影響があることも報告されています。

子どもへの対応

言葉で意思表示させる



「僕も〇〇したい」「〇〇を貸して」
など言葉で表現できるように導く。

ポジティブな強化



気持ちを言葉で言えたときは具体的
に褒めて、望ましい行動を強化する。

一貫した対応

保育園や事業所の先生と保護者が
協力し、一貫した対応を心がける。



4~7人のグループで遊ぶ

中人数の中で積極的に遊べる
環境を作ってあげる。



ふざけると逆効果になるので要注意!

運動あそびをたくさん行う

運動はADHDなどの衝動性や多動性
の改善にも効果があります。
サッカーやバスケット、卓球などの
球技は特に効果的です。



衝動性の強い子どもへの対応には忍耐と理解が必要です。子どもの個性を尊重し、
適切な支援を行うことで、コントロールを徐々に身につけてもらいましょう!